

WILSON
AUDIO

SASHA™



SASHA

SASHA



ウィルソンオーディオの原点はレコード制作です。オーディオファイルのためのレコードはウィルソン自身が製作したWAMMという伝説的なスピーカーによってモニターされ、そのLP、CDは高い評価を得ました。さらに精度の高いロケーションモニターの必要性から1985年にWATTを完成させました。鉱物含有アクリルベースという高価な材料のため、はじめこそウィルソンもスピーカーとして市場に出すことをためらいましたが、WATTによるCDのデモンストレーションの反響は大きく、販売を求めるオーディオファイルが続出したほどでした。後に、低域補強のためのPuppyを追加し、Watt/Puppyとして発表すると、世界中の先進的なオーディオファイルから絶賛されました。その形はハイエンドスピーカーの標準形態と言われるまでに至り、CESハイエンドのアイコンとなるほどの成功を取りました。これが、ウィルソンオーディオのスピーカーメーカーとしての出発です。

ウィルソンオーディオはアレキサンドリアX-2やMAXX-3というフラッグシップ機設計に投入したノウハウを全てサーシャに注ぎ込みました。上級機の音質的美点を受け継いでコンパクト化したモデルといえましょう。スピーカーの理想を追求する上で、ウィルソンオーディオの創業時から堅持しているコンセプトは、非共振キャビネット、正確な位相調整を期してモジュール構成による位相補正構造とクロスオーバーです。このコンセプトをさらに完璧なものにするべく、ウィルソンは改良に改良を重ねて、ユーザーから高い評価を得てきました。ドライバーユニットもX-2やMAXX-3の流れをくむのです。

特にミッドレンジドライバーは、幸運にもウィーンフィルのリハーサルに立ち会えたウィルソンが、その場で味わった感動と音響空間をリスニングルームに届けるべく、開発したものです。ライブ音源の印象とウィルソンスピーカーの表現力を念頭に、試聴に試聴を重ねて完成したこだわりのユニットです。ウィルソンはこう語ります。「マーラー交響曲第2番第2楽章のピッチカートが重なり合って奏でる楽章を聴いたとき、ヴァイオリンの弦の生々しい弾きと消えるまでの階調が非常に明白にのこり、その触感に目覚めさせられた」、「この感動を伝えるためには今の市場にあるドライバーではだめである。今までにないドライバーを製作する必要性を強く感じた。」と。また、チェロやコントラバスの重なり合ったフルボディのワインのような音の厚みをも体験できました。彼の思いの全てがフラッグシップ機、アレキサンドリアに現れ、ノウハウがサーシャに投入されました。このドライバーの性能を余すところなく発揮させるためにも、エンクロージャの設計は大切でした。ネットワークを上部モジュールから排除することによってコーン裏面から発する中域のエネルギーの内部反射が弱まりました。自由な動きをするミッドレンジドライバーによって透明度と明晰度がさらに高まったのです。

トウイーターはMAXX-3に搭載されている、強力マグネットによるインバーテッドドーム型ですからダイアフラム後面波は微量ですが、それを吸収する独自設計のドライバーです。よどみのない高域を得るためにはどうしても改善する必要があったのです。ウーファーは外観こそPUPPY-8と同じですが、マグネットを倍加することによって過渡特性と瞬発力を高めました。低音部は音楽の持つ躍動感を感動的にあらわします。独自のノウハウによって生まれ変わった以上の優れたドライバーを搭載するエンクロージャ

は、それゆえに重要な役割を課されています。材料、構造、形態という3要素を根本から見直すことによって、極限まで共振を抑えたエンクロージャが誕生しました。材質は硬度とコンプライアンスを兼ね備えた理想的なキャビネット用材と謳われたM材、X材を数度の改良を加えて完成度をより高めたものを、ノイズレベルをさらに掘り下げべく、サーシャ上部モジュールのサイドパネルには分厚く切削加工したX材を使用します。また、下部ユニットの容積をPUPPY8より大きくすることによって、低域を2Hz下げることができました。ダイナミックレンジを大きくとり、きめ細やかな階調表現に磨きがかかりました。

上部ユニットも容積を増やすことでWATTと違う内部構造を構想しました。もともとクロスブレイシングによって区切られる内部チェンバー体積を不均等にする構造で特許を取得したウィルソンですが、その技術に改良を加えることで、共振の大幅な減衰に成功しました。さらにミッドレンジの第四世代M材パツフルが第三代X材との相乗効果で共振を制御し、ごく僅かなノイズも排除することで、聴き手がわくわくするような演奏を再生することに成功しました。新たに導入したNC切削器は、複雑なかたちのキャビネットをコンピューター管理で精密に削り出すことができます。

ウィルソンは先端技術と美の本質には密なる親和があると考えます。彼はクレイモデルによってスピーカーの最終形態を決めているように、独特の形態とその美にこだわります。我々の享受するのは音のみならず造形の美しさでもあるのです。テクノロジーと感性。サーシャはウィルソン美学のたぐいまれなる結晶ともいえるべき作品なのであります。



Specifications

Woofer	20cm x 2
Midrange	18cm
Tweeter	2.5cm
能率	7w/chP
インピーダンス	91dB @1W @ 1m @1k Hz
周波数特性	20 ~22kHz(+/- 3dB)
サイズ	360mm (W)x1120mm (H)x540mm (D)
重量	89.5kg

キャビネットカラー	Standard Colors			Order Colors			ネットカラー	
	標準色	Argento Silver	Blarriz White	Obsidian Black	Black Kirsch	ネット標準色		
	Diamond Black	Dark Titanium	Oxford Gray	Topaz	Macadamia Metallic	Ghilles Green		ネット特注色
	Desert Silver	Porsche Violet	Carmon Red	Bugatti blue	Fly Yellow	Imora Red		Slate Gray
							Parchment Gray	
							LeMans Blue	

このカタログに記載の仕様、規格、および外観などは改善のため予告無く変更することがあります。また、図版の色彩は印刷インキや撮影条件などにより、実際の色と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。